

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆいまーるにゅうがわ		
○保護者評価実施期間	R6年9月13日		R6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R6年9月13日		R6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 10月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イベントや遊び、余暇活動等、友達と一緒に遊ぶ中で、集団生活に必要なスキルを身に付けられる支援を行っている。 初めての体験や経験を通して、発見や感動を得てもらうために、積極的に外出イベントを取り入れている。	イベントを通して、利用者様が自分で考え、選び、決定するなど、色々な選択や対応が出来るように工夫している。	遊びの中で楽しみながら様々な事を学んでいけるように支援内容を工夫していく。プログラムがマンネリ化しないように、これからも色々なイベントを計画していく。
2	地域との交流を大切に、地域の人々や団体と連携して子ども達の支援を行っている。	利用者様に身近な、お店や施設との交流の機会を持つようになっている。	利用者様が社会とのつながりを持てるよう地域活動に積極的に参加していく。
3	画像や動画などの使用の可否を事前に説明、同意の上でSNSの投稿活動を積極的に取り組んでいる。	施設でのお子様の様子を知ってもらえるよう毎月のイベント表にはQRコードを付け情報発信している。	現在、不定期な発信のため決められた時間に投稿していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	静養室は確保しているが、物音や声が遮断出来ず静かに過ごしたり、利用者様が崩れたりした際に落ち着いて過ごす部屋の確保が難しい。	1フロアであるため、物音や声の遮断が難しい。	パーティションやダンボールハウスを使って、落ち着いて過ごせる環境を作っていく。
2	保護者様同士で交流する機会を実施できていない。	交流の場は必要に感じているが保護者様のニーズを十分把握できていないため、実行に移せていない。	保護者様のニーズを把握するためにアンケートを実施する。
3			